

陸上貨物運送事業労働災害防止協会長野県支部

陸 災 防

全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会報告

第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が11月6日(月)、新潟県新潟市において全国からおよそ800名に及ぶ参加者により盛大に開催されました。長野県支部からは23名が参加いたしました。当日、大会宣言が採択され、優良フォークリフト等運転者表彰で長野県支部から9名が表彰されました。

大 会 宣 言

陸運業は、我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核として重要な役割を担っている。陸運業がその役割を果たしていく上で、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは必要不可欠である。

陸運業における労働災害は、会員事業者のたゆまぬ努力により、長期的には減少傾向にある。死亡災害は、昨年、初めて100名を切る99名となり大幅に減少したが、今年に入り、墜落・転落等の荷役災害の増加等により大幅に増加している。一方、死傷災害は、一昨年それまでの増加傾向に歯止めがかかったものの、昨年再び増加に転じ、今年に入っても増加傾向が続いている。加えて、陸運業における過労死等の労災認定件数は、全業種の中で突出して多い状況が続いている。

今年度は、「労働災害防止5か年計画」の最終年度である。陸災防では、7月から12月までを目標達成取組強化期間とし、厚生労働省が推進している荷役5大災害防止対策の徹底、荷役ガイドラインの内容等を加えて変更した陸上貨物運送事業労働災害防止規程の周知などに取り組んでいるところであるが、死亡災害の大幅な増加、厚生労働省からの「職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請」等を踏まえ、荷役災害防止・交通労働災害防止に向け、本部、支部、会員事業者が一体となって、取組を一層強化していくことをここに決意する。

また、一昨年度創設したフォークリフト荷役技能検定は、今年初めて1級試験を実施し、一歩ずつ実績を積み重ねているところである。フォークリフト運転者の安全・正確・迅速な荷役作業の技能を評価・認定するフォークリフト荷役技能検定を通じ、技能の向上を図り、荷役災害の防止に努めるものである。

さらに、過労死等の健康障害防止を重点として、今年度、全日本トラック協会、労働者健康安全機構と連携し、全国47支部で開催している過労死等防止・健康起因事故防止セミナーの実施等を通じて、陸運業における過労死等を撲滅し、陸運業で働くドライバー等の命と健康を守ることを決意するものである。

陸運業界は、人手不足、高齢化問題などの諸課題を抱え、依然として厳しい経営環境に置かれているが、我々は、人命尊重の理念の下に、労働災害の絶滅に向け積極的に取り組むとともに、健康で安心して働くことができる職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与するものとする。

このため、

- 一 経営首脳が先頭に立った安全衛生活動の積極的な推進
- 一 事業場の安全衛生水準向上の取組の推進
- 一 荷役運搬作業の安全の確保
- 一 交通労働災害の防止
- 一 健康確保対策の推進
- 一 安全衛生教育の徹底
- 一 安全衛生意識の高揚

以上の七項目を重点に、より一層努力を重ねていくことをここに誓う。

右、宣言する。

平成29年11月6日

第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会